

Hermann Park Japanese Garden

8年目を迎えた日本庭園改修工事

2006年に初めて基本調査をお願いし、2007年からスタートした改修工事のため、毎年春先に日本から日本庭園造園技師や庭師を招聘しています。ヒューストン日本商工会、日米協会、日本人会並びに日系米人連盟など4団体から色々な形でご援助頂き、さらに1992年の開園以来継続する在ヒューストン日本国総領事館の温かいご支援にも励まされながらこのプロジェクトは進められています。今年も高岡総領事ご夫妻はじめ各関係団体のご担当の方々のお力添えによって無事スケジュールを完了いたしました。最初に厚く御礼申し上げます。

通常は植栽の時期なども考慮して2月に招聘するところ、今年は庭師、岩崎博司氏、岩崎大樹氏の都合もあって3月10日から19日までが作業日となりましたが、この期間は地元のSpring Breakとも重なり連日すさまじい人出のため昼食に外出する事も出来ず特別のBack up体制で臨みました。動物園の入場者が一日に1万9千人にものぼりHPDの交通規制で混乱の毎日でした。

作業内容は事前にお互いの要望事項を交換し合い決めるのですが、今年の新しい作業は長屋門を入ったところにあるトイレと事務所の前に目隠しの板塀を建てる事、日本政府から頂いた桜から茶庭に向けた50メートルほどの遊歩道(池に向かった藤棚の反対側)に低い竹垣を設置する事、さらに藤棚のそばにあるコンクリート造りの大きな浄化槽の上に竹で編んだ飾りの蓋を作ることなど特殊なものがあり、日本で用意されたメートル法とこちらのフィート、インチとの換算で作業員は振り回されました。日本庭園内に建てるものは完全な日本形式でなければならぬという原則を守るの如何に難しいかお分かりになると思いますが、特に建物の場合、地元の大工に日本の建具屋のような精密な仕事をさせるには無理があります。それでも、打ち合わせを重ね、時間を費やしなが作業に入りましたが予定期間中に完成できず、後半は地元の作業員が継続して完成を目指す事になりました。4月12日、13日に予定されるジャパンフェスティバルまでには仕上げようと頑張っています。



樹木の手入れの方は、毎回繰り返している21本の黒松の剪定、百日紅の透かしの為の思い切った伐採、紅梅、白梅などの剪定、その他南天をはじめ伸びすぎた沢山の植木の剪定を殆ど完全に済ませました。其れと共に、これから行なうべき作業、補植、移植など50項目ほどのご指示を頂き、

其れが地元作業員達への「宿題」となります。

植物は気候の変動に大きく左右されますが、寒かった冬のせいか今年の桜は2月はじめに咲き、例年2月末に咲く紅梅、白梅もおなじ時期に終わりました。逆に例外は「おかもめ桜」だったかもしれません。この桜は開園時100本植えられましたが、当地になじまず現在5、6本しか残っていません。例年は弱々しい花がちよっぴり咲く程度ですが、今年は3月に豪華に咲き誇り見事でした。現在、多種多様なつつじが花を開き、又開き始めており、さらに藤棚には既に薄紫の藤の房が下がり始めています。

この大作業の後を受けて、4月5日(土)には恒例の日本庭園Cleaning Volunteer Dayが行われました。毎年春秋二回行なわれるこのボランティア活動には、毎回日米両方の沢山の方々が参加してくださり感謝しています。

今年はHermann Park開園100周年を迎え、年間を通して色々な記念行事が行なわれています。其れを祝い、姉妹都市千葉市から世界的に有名な千葉の花「大賀ハス」が日本庭園の池に分根されます。ジャパンフェスティバルの開会式で、来訪される千葉市議員から贈呈される予定です。昨年6月に千葉市議員が来訪され日本庭園内をご案内した際、池で枯れた睡蓮の話を申し上げたところ、大賀ハス分根のヒントを得られ持ち帰り検討していただいた結果、漸く纏まった嬉しい話です。(大賀ハスについては3ページでご紹介しています。)分根を受けて日本庭園内の池(木橋の奥辺り)に植え、気候その他条件の違いもあるため、色々な形で生育を試みる予定です。2000年の歴史を持つ千葉の花、大賀ハスの花がヒューストンに見事に咲く日を楽しみにしています。

南 邦夫

Hermann Park Conservancy 理事



平成26(2014)年3月度 商工会理事委員会 議事録

日 時:平成26年2月19日(水)11:30~12:50

場 所:住友商事社 会議室(10階)

出席者:名誉会長、理事委員14名、正会員1名、事務局長

欠席者:理事委員6名(うち、会長委任6名)

司 会:金子公亮幹事

1. 商工会会長連絡(土光辰夫会長)

土光会長から下記4点の連絡があった。

①先月退職されたライブロック事務局長に代わり今月より鮎川事務局長が会議に参加されている。

②2月末、Houstonに佐々江大使がアジアソサエティー主催のタイガーボールご出席の為に来られた。商工会関係と朝食会が催され、Houstonの情勢、実情について会談した。

③先週、総領事出席のもと、補習校の卒園式、卒業式が行われた。現段階の新学期在籍予定数は417名となっており、昨年比25名プラスとなっている。それに伴い教員の確保、運営上の問題も今後の課題となってくる。また、卒業式と同時に2年間勤められた山岡校長の退任式も行われた。

④今後春のイベントが目白押しとなる。ソフトボール、ジャパンフェスティバル、ピクニック等ご協力が不可欠となるため、是非、積極的なご参加とご支援をお願いしたい。

2. 総領事館連絡(高岡望総領事)

高岡総領事から、下記2点についてお話があった。

①佐々江大使当地来訪の際には朝食会に土光会長を始めとして商工会の幹部に御参加頂く等、御協力に感謝申し上げる。タイガーボールの会場となったアジアセンターは、日本人建築家谷口氏の作品であり、日本をテーマとしてボールが開催され、ヒューストンのビジネス界における日本のプレゼンスの向上に成果があった。二日目の講演では、靖国参拝に関しての質問があり、佐々江大使より靖国問題を取り上げて批判する勢力と日米同盟の強化に後ろ向きな勢力の関係に気を付けるべきとのコメントがあった。

②総領事館のホームページに“日本企業支援(Japanese Business Spotlight)”のコーナーを設けている。現在、トヨタのサンアントニオ工場10周年やダイキン・ヒューストン工場新生産ライン操業開始などが掲載されているが、そのような特別の機会でなくとも、総領事館のホームページを活用して御社による投資・雇用等テキサス経済への貢献をアピールされたい企業は是非声を掛けて欲しい。

3. 2014ジャパンフェスティバル関連報告

(猿川秀 正会員・及川毅副会長代理)

猿川正会員より今年度のジャパンフェスティバルに関連し報告があった。

4月12日、13日にジャパンフェスティバルが開催される。本年度のボランティアは現時点で181名集まっており、皆様のご協力にお礼を申し上げたい。午前中にボランティアが集中していることから今後調整を行っていく。現在募集中の寄付についても、ご協力をお願いしたい。公園内駐車場は数が限られていることから、パーキングマップを作成中。メトロを利用して無料駐車場からアクセスする方法もあり、合せて案内する予定。メインステージにて行われるプログラムスケジュールはほぼ完成、日本語補習校生徒による踊りなども予定されている。

“ヒューストン日米協会 直木会長のメッセージ”

①既に寄付を一部の会社より頂いている。ジャパンフェスティバルの為に頂いた寄付は日米協会の一般勘定とは別の管理をしており、残金は将来の雨天の際の補充資金として管理をする。小額の寄付でも是非お願いしたい。

②ボランティアに関して、毎年延べ200~250名のボランティアの参加をして頂いている。引き続きボランティアのご協力をお願いしたい。

③当日の駐車場に関して、毎年駐車場が満車となり通行止めが発生している。一般の方々にできるだけ駐車場の確保をしたい為なるべく乗り合わせにて来場していただけるようお願いしたい。

4. 幹事報告(金子公亮幹事)

事務局長後任について

①前回の理事委員会にて役員一任のご承認をいただいた鮎川事務局長のサポート人員の採用について、今月、高杉副会長、加藤会計幹事と共に面談を実施。当該面談後、役員に諮問し、役員全員の一致に基づき採用候補者を決定した。但し、ビザの関係上6月末までの時限採用となる。また、現在米国当局に就労許可を申請中であり、当該就労許可が得られ次第勤務開始となる予定。次回の常任委員会にて、別途現状を連絡する予定。

②鮎川事務局長は5月中旬までの勤務となり、離職後の後任については引き続き推薦を基本としていきたいが、同時に4月の初旬を目処に商工会会員の人材派遣会社を通じ、公募も視野にいれている。

5. 委員会・部会関連事項

①企画調査委員会

*米国経済討論会の開催について(中溝企画調査委員長)4月度常任委員会終了後、1時45分より開催予定。今回はニューヨークより三菱東京UFJ銀行の岩岡聰樹氏とみずほ総合研究所の太田智之氏を迎え討論会形式で行う。

*第25回テキサス州日本語スピーチコンテストへの協賛等報告

(中溝企画調査委員長)

3月8日に開催されたスピーチコンテストに商工会は協賛するとともに、企画調査委員長が審査員として参加した。当コンテストは日米協会および総領事館が共催しているイベントで、テキサス州で日本人を親としない方々が参加した。高校生の部、大学生の部等があり、高校生の部の上位2名は全米大会に出場する。

②スポーツ委員会

*商工会ソフトボール大会関連報告(岡野副会長兼スポーツ委員長)

4月20日(日)開催。雨天の場合は5月25日(日)に延期される。3月14日(金)にキャプテン会議が行われ、リーグ戦の抽選が行われた。今年の参加チーム数は、昨年の16チームから18チームに増えた。決勝及び3位決定戦まで勝ち進んだチームは1日5試合することとなる。参加者に関しては十分に体調を整えて試合に臨まれるようお願いしたい。

*テキサス会関連報告(松下悦啓物資・化学品部会長)

5月18日(日)、Wind Rose Golf Clubにて開催予定。会場の仮予約完了。今後、案内状、および寄付依頼は商工会を通じて行う予定。

③文化委員会

*ピクニック関連報告

(鮎川代読:吉松雅敏正会員/藤井一彦文化委員長代理)

5月11日(日)、Gordon Ranchにて開催予定。2月27日(木)に第一回幹事会を開催し、開催概要の確認、担当業務分担について話し合った。4月下旬に第2回目幹事会を開催し、寄付の回収状況の確認、当日の業務分担の最終確認をする予定。今後、4月上旬に商工会会員企業への開催案内、ラッフル賞品の寄付のお願いを発信予定。今年はソフトボール大会が別日となったことから、減少が想定される為、来場者確保、事前ラッフルチケットの購入、ラッフル景品のご提供などを引き続きお願いしたい。

④生活・情報委員会

* 古本市関連報告(大内裕子生活・情報委員長)

5月17日(土)、12時から4時まで開催。古本市開催前後の作業者として、ボランティアは11時から5時まで依頼している。岡野眞貴子さんを中心とし、ボランティアを募っている。本の出し入れ等、男性のボランティアの力も借りたい。価格設定は3冊1ドルとする。売り上げは図書館の書籍、備品の購入経費とする予定。今後、商工会メール、ガルフストリーム、補習校でのフライヤーなどによる告知を行う。

6. 事務局関連事項(鮎川史代事務局長)

会員消息(別項「会員消息」欄参照)

7. その他

及川副会長より

米国への入国に際して最近Houston空港においてイミグレーションでの待ち時間が非常長くなっておりビジネスに支障を来す事が起こるケースも出て来ている。其処で、いち早く入国ができるGlobal Entry Systemへの登録を日本人にも認めて貰える様に総領事館よりも米国の関連政府機関に働き掛けていただけると大変有難い。現在このシステムは米国人以外には韓国を始めとする一部の外国人にのみ適用になって居る。

★よろしく! ~新規入会です

* 正会員入会

・Teikoku USA Inc.

大下 尚

・Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A. Inc.

水野 幹太

◆さようなら! ~残念ながら退会です

・Teikoku USA Inc.

加減 孝司

・Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A. Inc.

岡部 浩二(由子)

●替わりました ~メモのお願い

・JFE Shoji Trade America Inc.

(新住所) 10777 Westheimer Road, Suite 815,
Houston, TX 77042

・Teikoku USA Inc.

(新住所) 5880 Bingle Road,
Houston, TX 77079
Tel:713-983-9901
Fax:713-983-9919

一面で少し触れましたオオガハスについて、ご紹介します。

オオガハスについて

☆発見されるまで

大賀一郎博士は、東京大学の理学部で植物についての研究をされ、卒業後、1917年(大正6年)に南満州鉄道会社員として赴任し、そこで南満州フランテンの泥炭層から古蓮の実がたくさん出ることを知り、それらを収集し本格的にハスの研究をされるようになりました。

1923年(大正12年)に、フランテンの蓮の実が500年以上経っていることを発見し、1927(昭和2年)年にその研究をまとめ、東京帝国大学の理学博士の学位をとられました。

その後、蓮の研究に没頭されていきます。古代蓮の実の生命を甦らせるため、古代蓮の実を探しておられましたが、井之頭の武蔵野博物館に丸木舟と同時出土の蓮の果托が展示されているのを見つけられ、その発掘地周辺には蓮の実があるのでは、と思いつかれました。

丸木舟の出土した場所が千葉市の東大検見川厚生農場であるのがわかり、昭和26年3月3日から蓮の実を捜す発掘が開始されました。近隣の花園中学校ならびに畑小学校の生徒も参加し、予定の期間も過ぎた3月30日、花園中学校の生徒がふるっていた土の中から一粒の蓮の実が発見されました。その後も4月6日に更に2個発見。

☆発芽と育成

蓮の発芽実験は1951年(昭和26年)5月6日大賀博士の自宅で行われました。一粒は発芽後すぐ枯死してしまいましたが、2粒が生育し始めました。そのうちの一粒は6月12日に千葉県農業試験場に届けられ、3枚目の葉が出かかっていたのですが、植え付け前に枯死してしまいました。残りの一粒は、6月19日に千葉県農業試験場でコンクリート製の水槽に植えつけられ、細心の注意のもと育成管理され、順調に生育しました。

昭和27年4月7日に大賀博士立会いのもと、蓮根が掘り上げられ、3つに分根されました。約60cmの大きい蓮根は東京大学検見川厚生農場に植えられましたが、管理上の都合で地元の伊原茂宅へ移さ



千葉市蓮華亭(千葉市IPより)



ハーマンパークの日本庭園で美しく咲く日
が待ち遠しいわい!

れ、約40cmの蓮根は千葉公園に、最も小さい蓮根は千葉県農業試験場の圃場に植えられました。

☆開 花

伊原氏宅で育てられた蓮は順調に育ち、1952年(昭和27年)7月1日に1本目の蕾が出ました。14日には2本目の蕾も出て、7月18日について開花。この古代蓮の開花については、新聞でも大々的に報道され、1952年(昭和27年)8月11日の「毎日クラブ」や11月27日付けの「LIFE」で全世界に発信されました。

千葉公園の蓮も1953年(昭和28年)8月5日に開花。千葉県農業試験場の蓮も1955年(昭和30年)に開花しています。

☆蓮の年代測定

直接蓮の実の年代測定が出来なかったため、同時代の丸木舟のカヤ材の断片から、ラジオ・カーボン・テストにより、3075年±180年とわかり、カヤ自体1000年は経っているだろうことから、1000年を差し引き、2000年前のものとなりました。

☆オオガハス(大賀蓮)の命名

1953年(昭和28年)4月25日に「検見川の大賀蓮」と命名され、1954年(昭和29年)3月31日付けで千葉県天然記念物に指定されました。

※引用文献:東京大学大学院農学生命科学研究科附属緑地植物実験所
編集「大賀一郎博士と古代ハス」より

※この文章は、一部言葉遣いを訂正して掲載しております。

HORIBA INSTRUMENTS INCORPORATED ALVIN OFFICE

Gulf Coast Regional Sales Manager
小林 祝夫 さん

HORIBA



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

堀場製作所は分析・計測機器の総合メーカーです。環境監視用途の連続計測機器や、産業プロセス計測機器、ラボ用計測機器などを開発/製造/販売 をしております。

ここTexas Alvin工場では堀場製品のみならず、お客様の要求に合わせた計測機器を組み合わせるシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

持ち前の分析計専門メーカーとしての知識と経験に、システムインテグレーション能力を掛け合わせることで、最適なソリューションをお客様に提案しております。

現場サービス員を含めると総勢65名のメンバーで、プラント関係のお客様を中心にサポートを展開しております。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

とにかく広大な土地とのどかな風景、ワイルドなピックアップトラックが印象的です。

また活発な投資環境から町がダイナミックに変化していることを感じますが、ここで暮らす人々は町の変化に囚われず、穏やかで親切的印象を受けます。

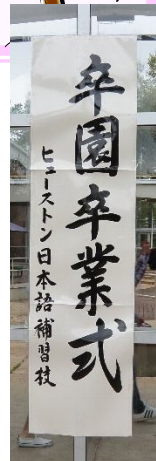
夏は蒸し暑いと聞いておりますが、京都から来ておりますので、どちらが過酷な蒸し暑さか比べてみたいと思います。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

私は今年の1月に赴任したばかりですので全てが新鮮に見えますが、特に大自然に触れたいと思っています。キャンピングカーを借りて長距離の旅に出たり、国立公園を巡ってみたいと思います。

またスポーツではサッカーを長い間やっておりましたので、こちらでも是非チームに入り、現地の方と交流を深めたいと思います。貴重なアメリカ生活ですので、是非いろんな方と交流し、見聞を広めたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

卒園・卒業式



去る2014年3月15日に、ヒューストン日本語補習校の第42回卒園・卒業式が挙行されました。当日は、あいにくの曇り空でしたが、幼稚園部40名、小学部26名、中学部17名の計83名および高等部修了3名に、山岡校長から証書が一人一人手渡され、卒園・卒業生たちは晴れやかに巣立っていきました。



今回、式は二部制で実施され、開式の辞の後、日米各国歌斉唱に続き、まずは卒園児童への卒園証書授与が行われました。小学2年生児童からの祝辞では、これから小学校へと進む園児に向けて「1年生になると漢字を学び、色々な本を読めるよ。国語、算数と学ぶけど、心配しないでね。お兄さん、お姉さんが助けてあげるよ。」と元気で温かい言葉がありました。

続いて行われた小学部・中学部の卒業証書授与においては、どの児童・生徒も年長らしく立派な態度で臨んでおり、卒業生保護者の方は、異国の地で無事にこの日を迎えた我が子の成長の姿に安堵し、感動したに違いありません。

学校長式辞では、現地校と補習校を両立させてきた上級生としての姿を下級生に見せてくれたことに対する感謝の言葉の後、はなむけの言葉として、2020年東京オリンピック招致で演説されたパラリンピック女子走り幅跳び代表の佐藤真海さんのエピソードを紹介し、「目標を決め、それを障害と思わず、その壁を乗り越えることに喜びを感じ、苦しいときは、ヒューストンで両立させてきた自身の姿を思い出してください。」との激励をいただきました。ご来賓を代表して高岡総領事は、テキサスの語源となった仲間を意味するテハスを引用されながら、「さまざまな文化とのふれあいは貴重なもの、テキサスで得られた仲間のきずなを大事にしてください。」とお祝いの言葉を述べられました。



最後に2年間の任期を終えられた山岡校長とのお別れがありました。「世界一の補習校」を目指すという前任校長の高い志を引き継ぎ、時には授業の様子を後ろから見守り、現地校との両立を楽しむように、生徒達に絶えずやさしく温かく接して来られました。2年間の就任のご挨拶から離任のご挨拶までマラソンで話をまとめられ、2年間「世界一の補習校」のためにまさに走り続けて来られたのではないのでしょうか。

幾多の別れがある一方で、新年度には新たな出会いが始まります。出会ったテハス(仲間)との素晴らしい思い出を胸に、より一層素晴らしい人生を歩んでほしいと思います。卒園・卒業生の皆さん、保護者の皆様、本当におめでとうございました！
(文責:補習校運営委員会)



ヒューストン日本語補習校の山岡清孝校長は、任期満了により2014年3月に帰国され、新たに4月から、青森県で中学校の校長等を歴任された山崎弘光校長が着任されました。

山岡校長の2年間のご尽力に心より御礼申し上げますとともに、新体制に対する商工会会員・補習校生徒ご父兄の倍旧のご支援をお願いいたします。

退任のご挨拶

山岡 清孝

この度2年間の任期を満了して帰国する事になりました。

在職中、皆様方には陰に陽に大変お世話になりました。特に商工会の元会長の上野様、前会長の岡野様、現会長の土光様には行事のたびに補習校に足を運んでいただき、学校運営にご理解とお力添えをいただきました。ありがとうございました。

前任校長から「世界一の補習校に」という引き継ぎを受けた私は、教育課程の充実は勿論のこと、先生方の授業力向上や学校運営の組織化に心掛けてまいりました。また、児童生徒の皆さんにとって「身近な校長」と感じてもらえるよう、朝の挨拶や各教室訪問の他に実際に授業をおこなってきました。

2年間で「子ども達にとって『学びたい学校』に、保護者の皆さんにとっては『学ばせたい学校』に、そして将来『学んで良かった学校』になるように」という、目指す学校像に近づけたかどうか定かではありませんが、日々の研鑽に裏打ちされた先生方の授業で、園児・児童生徒の力は確実に高まっていることは事実です。

今後、ヒューストン日本語補習校在籍者数は、シェールガス等の関係もあって増加の一途だと予想され、当然学級増とそれに伴う教員増が不可欠になってきます。これから総領事館・商工会さらに各種団体の皆様の変わらぬご理解ご支援を、よろしくお願い致します。

2年間のご支援に感謝申し上げ、皆様方とヒューストン日本語補習校の益々の発展を祈念し、退任の挨拶と致します。ありがとうございました。



着任のご挨拶

ヒューストン日本語補習授業校

校長 山崎 弘光



くことが予想されるということも様々な方面から耳にしたことでありました。

このアメリカの地で生活している日本人の皆様は、どのような人生の旅が続けられておられるのだろうか、そして、子どもたちにとってこの地での生活の経験が人生の中でどのような意味をもって自らのなかに吸収されていくのだろうか、そういったことが強く頭をよぎりました。

改めまして、この2014年 4月1日付けで、ヒューストン日本語補習授業校校長として着任致しました山崎弘光と申します。海外勤務は今回が初めてでございますが、退職まであと2年、私の教員生活の集大成として、また、自分なりの新たな生活への挑戦として、責務を果してまいりたいと思っております。

こちらに到着当日、教職員歓送迎会を開いていただきました折、私は次のような挨拶の言葉を述べさせていただきます。

「運営委員、教職員の皆様と共に、子どもたちにとって『この学校でよかった』と思えるような安心して学べる学校、学びの喜びを得られる学校にしていきたい。そのことをベースとして、海外にあるということを踏まえ、子どもたちと共

に、また、保護者や教職員、関係者の皆様と共に、日本を考え、アメリカを考え、グローバルな視点といったことについて考えを深めていきたい。」

本校の教育目標は、「日本語のできる子どもに国語力、算数・数学の基礎・基本的知識を身につけさせ、より一層国際的感性を高める」です。また、めざす学校像は、「学びたい学校、学ばせたい学校、学んで良かった学校」です。これらのことを私なりにとらえ、思いを重ねてお話し申し上げました。

ヒューストン日本語補習校は、この教育目標とめざす学校像で「世界一の学校にしよう」という思いで、学校を創り上げてきました。私は、どのような教育条件の下でも、子どもたちにとって、「この学校でよかった」と思えること、それが、「心の中の世界一の学校」だと思っています。子どもたちが、安心して学ぶことができ、学びの喜びを得、成長の実感を感じることができる学校、そして、貴重な異文化生活体験からの、日本文化の認識や国際的視野の拡充といったことを念頭にいた教育活動を展開できればと思います。

そのために、私は、基本理念として、「教育とは認めることである」「一人一人が大事にされる学校」「教師は一生をかけて教師となる」の3点を掲げました。この基本理念を基に、教育目標、めざす学校像の実現をはかっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

車線の多い道路と駐車スペースの大きさ、都市部の中にある住宅としては区画の広い敷地、これはやはり広大な国土を有する国ならではのものでありましょうか。

この3月15日、こちらに到着いたしましたから、山岡清孝前校長との引き継ぎを行いながら、ご案内いただいたヒューストンの街並みの第一印象です。また、この地で暮らす日本人は増加の一途をたどっていて、補習校に通う子どもたちも、今後かなりの度合いで増えてい



25周年記念 テキサス州日本語スピーチコンテスト

今年25周年目を迎えたテキサス州日本語スピーチコンテストは、その記念大会が去る3月8日土曜日、ライス大学ヘリングホール (Herring Hall) にて開催されました。記念大会はヒューストン日米協会主催、在ヒューストン日本国総領事館共催のもと、ヒューストン日本人会、ヒューストン日本商工会、テキサス州日本語教師会等、各日本団体から多大なるご支援とご協力を頂きました。各地区予選(オースティン、ヒューストン、ダラス、サンアントニオ)を勝ち抜いた出場者は、部門数が増えたこともあり、総参加者数は保護者、引率教師、一般聴衆を含め、過去最多の200名を超える大会となりました。

本大会はスピーチ5部門が大会前半に、詩暗唱2部門が大会後半にそれぞれ分かれて発表と審査が行われました。これまでの大会では出場者が各々スピーチや詩の暗唱を行う個人競技が主でしたが、25周年を迎えたことを記念して、今年からグループ競技のスキット(寸劇)部門が新しく設置され、ヒューストンとダラス地区から併せて3グループが出場しました。指導した教師によると、普段の授業では目立たなかった生徒がグループ競技への参加出場を機に練習を始めて以来、積極的に授業に参加するようになったと嬉しく話していたのが印象的でした。スピーチ・オープン部門には日本人を親に持つ学生が姉妹でサンアントニオから参加、地元ヒューストンからは社会人2名が、其々出場しました。

詩暗唱部門で東日本大震災の復興支援テーマソングの「花は咲く」が課題詩の一つに挙げられていたことから、発表終了後にヒューストン郊外KATY学校地区内3校(Seven Lakes 高校、Morton Ranch 高校、Mayde Creek 高校)から、シェリダン義美先生率いる日本語II(課外授業)で学ぶ8名の高校生がSeven Lakes 高生のギター伴奏で「花は咲く」を合唱しました。希望溢れる若者の澄んだ歌声に、参加者・聴衆が日本語の詩を通して思いを共有したひとときとなり、3年前のその日に思いを寄せ被災者へ祈りを捧げました。

大会後のスピーチコンテスト授賞式及びレセ

プションは同大学内ファーンワース・パビリオンに於いて、在ヒューストン日本国総領事館から高岡総領事をお迎えし、ヒューストン日本人会、ヒューストン日本商工会、ニューストン日米協会、等各支援団体代表の方々のご出席のもと、200名を超える大会参加者全員が大会受賞式に臨みました。授賞式には日本政府が支援する架け橋青少年プログラムでライス大学を訪問している千葉大学生も同席しました。又、過去25年にわたりスピーチコンテストの拡充と発展に貢献された松本本大会会長に日米協会贈呈の感謝状と記念品が高岡総領事から授与されました。昨年同様、本年度もヒューストン日本人会から日本人会奨学金千ドルが高校スピーチ全米オーロラ大会出場者選考部門の1位入賞者に授与されました。この奨学金の設立者を始め、日本人会会長、日本人会関係者の皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。またヒューストン日米協会からユナイテッド航空ご協力のもと特別賞、日本行き往復航空券が大学スピーチ部門の1位入賞者に授与されました。

ヒューストン日米協会会長、関係者の皆様の温かいご支援とご理解に改めて御礼申し上げます。本大会が無事に、そして成功に終了できたのも偏に在ヒューストン各団体からのご理解と資金面でのご支援、ボランティアの皆様のご協力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。今後とも引き続きご支援、ご協力頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

在ヒューストン日本国総領事館をはじめ、各団体を代表する方々の審査により入賞された方々には今後も継続して日本語と日本文化を学習し、日米両国の架け橋となり日米文化の交流と相互理解に尽力されるよう心より祈念いたします。また入賞された生徒学生のご家族、日本語教育に携わる教師の方々の日々の努力に感謝いたすと共に、その努力の成果に心からお喜び申し上げます。おめでとうございます。



スピーチ朗読部門

- 1位 Joowon Lee (Bekner H.S., Dallas)
- 2位 Anishka Bhatia (Newman Smith H.S., Dallas)
- 3位 Kaiden Park (Cinco Ranch H.S., Houston)

高校スピーチオーロラ予選部門

- 1位 Huidong Hwang (Creekview H.S., Dallas)
- 2位 Glynis McKinney (Klein H.S., Houston)
- 3位 Nghi Truong (Johnson H.S., San Antonio)

スピーチ大学部門

- 1位 Solomon Ha (Texas A&M, College Station)
- 2位 Andrew Kim (UTSA, San Antonio)
- 3位 Seth Coonrod (UT Austin, Austin)

スピーチ社会人・オープン部門

- 1位 Emi Yokoo (University of Incarnate Word, San Antonio)
- 2位 Miwako Yokoo (University of Incarnate Word, San Antonio)
- 3位 Julia Holz (Japan-America Society of Houston)

スキット部門

- 1位 Richardson H.S., Dallas (Tiana Abron, Catherine Milan, Sandra Pacheco, Tryton Shelp)
- 2位 Bellaire H.S., Houston (Aileen Martinez-Escobar, Laura Newland, Erika Vinette, Afton Widdershirns)
- 3位 Bellaire H.S., Houston (Janica Abella, Robert Brown, Nicholas Mendoza, Christopher Olvera)

詩暗唱部門・初級

- 1位 Rozelle De Silos (Winston Churchill H.S., San Antonio)
- 2位 Gabriel Saucedo (Johnson H.S., San Antonio)
- 3位 Sandra Nguyen (Richardson H.S., Dallas)

詩暗唱部門・中級

- 1位 Tyler Smith (Bellaire H.S., Houston)
- 2位 Mica Mangibin (LASA H.S. Austin)
- 3位 Wrik Chakrabarti (Seven Lakes H.S., Houston)

ヒューストン日本人会奨学金 (\$1,000) :

Huidong Hwang (Creekview H.S., Dallas)

オーロラ日本語スピーチコンテスト全米大会 (5/2014) 出場資格獲得:

Huidong Hwang (Creekview H.S., Dallas), Glynis McKinney (Klein HS, Houston)

日本行き往復航空券:

Solomon Ha (Texas A & M University, College Station)

●大会HP

http://www.jas-hou.org/index.php?option=com_content&view=article&id=26&Itemid=160&lang=en

●大会結果

<http://www.jtat.org/SpeechContest14/Results.htm>

佐藤裕子

ライス大学人文学部外国語センター日本語科
ヒューストン日米協会スピーチコンテスト実行委員会

ヒューストン～成田直行便 毎日2便に増便

3月30日より、これまで毎日1便だったヒューストン～成田直行便が毎日2便となりました(表の通り)。

増便初日となる3月30日朝には、ヒューストン空港(IAH)の出発ゲートにおいて、ヒューストン関係者や日系メディアが招かれ、増便を祝う式典が開催されました。商工会からも鈴木副会長が出席しました。

式典では、直行便を運航するユナイテッド航空のステファニー・ブキャナン氏(ヒューストン空港担当副社長)が挨拶の中で、ヒューストン空港を同社中南米路線で最大のハブであると紹介しました。また、高岡在ヒューストン総領事からも、この増便について「テキサス州及びヒューストン市と日本との一層の経済及び文化交流発展に大きな役割を担う」とお祝いのご挨拶があり、その後、式典参加者全員でヒューストンの青空に向かって離陸した増便の初フライトを見送りました。

また、式典後には日系メディアを対象とする、高岡総領事及びJETROヒューストン事務所中溝所長によるプレゼンテーションと、NASAやメディカルセンターを訪れる市内視察が開催され、オイル&ガス産業の中心地として発展するヒューストンが改めて紹介されました。参加した日系メディアからも「米国経済を支えるヒューストン」といったコメントがあるなど、まさに今日のヒューストンの活況を体現した1日でした。

今回の増便を機に、商工会会員企業のビジネスおよび会員・ご家族の生活にとって、ヒューストンがますます便利な地となることを願ってやみません。便利でリーズナブルなフライトが増えるよう、航空各社の更なる頑張りを期待します。

	便名	運航曜日	出発	到着
ヒューストン発	UA001(増便)	毎日	IAH 9:00	NRT 12:35(翌日)
	UA007	毎日	IAH 10:55	NRT 14:30(翌日)
成田発	UA006	毎日	NRT 16:00	IAH 14:00
	UA002(増便)	毎日	NRT 18:55	IAH 16:55



増便記念式典にて



高岡総領事挨拶



ブキャナン副社長挨拶

駐米のヒューストン日記

第114回 藤井真理子さん



主人がヒューストンに赴任になったのは、今回が二回目です。一回目は1992年から1999年の七年間でした。まだ一歳だった長女をバギーに乗せ、涙で前も見えない中、両親と成田空港で別れた事をまるで昨日のように覚えております。私は小学校六年から高校一年の途中まで、父の仕事でウィーンに住んでおりましたので、子供の頃に海外生活の経験はあるものの、母親の立場での海外駐在は初めての経験。不安で胸が一杯でした。クリスチャンファミリーに育った私は、まず家の近くの教会を探し、日曜礼拝に子供と出席するようになりました。身内から遠く離れ、幼い

子供を育てるには不安や悩みも多く、心より信頼できる存在を求めていたのでしょう。教会の方からは私も娘もあたたかく受け入れていただき、友達もできました。しばらくして、洗礼を受け、週に一度、平日の午前中にバイブルスタディーにも通い始めました。お母さん達がバイブルスタディーをしている間、子供達は別の部屋で聖書のお話を聞いたり、歌を歌ったり、遊んだりするプログラムで、私も娘もその日を楽しみにしておりました。そして、次女と三女を授かりました時には、教会の友達や駐在員の奥様方が、つわりがひどい時に上の子供を預かってくださったり、差し入れをしてくださったりして、まだ若い母親だった私を支えてくださいました。今でも心にしみるように嬉しかったことを覚えています。

そして、今回が二回目の赴任。八年前の4月16日に、四人の子供を連れて再び両親と涙の別れをしました。今回は七ヶ月の長男をバギーに乗せ、次女、三女、四女を連れての渡米です。ここで母親の私がしっかりせねばと思うのですが、涙が止まりません。長女は日本で高校生活を続けたいと東京の私の実家に残りました。

ヒューストンに着くと、前回と同様まず近くの教会を探しました。自宅から通りを二本隔てたところに教会を見つけた時は、心が舞うようでした。早速、日曜礼拝に出席するようになり、親しい友達もでき、その中の一人に誘わ

れて、バイブルスタディーにも通い始めました。しばらくして、教会の方から「子供のクラスを教えてくれないか?」と声をかけられ、家族にも相談した後、勇気を出して申し出を受け入れることにしました。一歳児、二歳児、三・四歳児のクラスと色々なクラスを担当しております。準備は大変ですが、学ぶところも多く今の私の生活の大切な一部となっております。

四人の子供達の学校、課外活動、習い事の送り迎え、日常生活の買い物、料理、家事で手が一杯で、私自身習い事はしておりません。好きなお菓子作りとバイブルスタディーを楽しみに生活しております。また、子供が好きなので、時々小さなお子様を預らせて頂き、幸せな一時を過ごしております。末っ子の長男も小学一年生になり、少し手が離れてきた最近、以前から好きだった着物を着るようになり、一日中そのままで過ごしております。フレンドリーなアメリカ人はクローガーなどで、「ビューティフルドレス!」と声をかけてくださいますので、日本の印象が悪くならないように、少し緊張しつつ外出しております。

これまで、家族を始め多くの方々に助けられ、励まされつつ色々な問題を乗り越えてくることができました。感謝の気持ちで一杯です。そして、不安や悩みも含めて、良い時も悪い時も、いつも変わらぬ愛をもって導いてくださる神様に、賛美と感謝をいたします。

花粉症について

医師 小川リール好子



4月に入り、暖かく春らしい日も多くなって参りましたが、皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。既に黄色い花粉が道路や車に降り積もっていますね。木だけではなくイネ科の草の花粉やカビの胞子も、気温が上がっていくにつれてますます大気中の飛散量が増えて、我々が鼻や口から吸い込む量も増えていきます。日本でもアメリカでも、花粉症患者さんの割合は全人口の約2割とされており、昨今では何らかのアレルギーを持っていない人のほうが珍しくなってきました。そこで花粉症シーズン真っ最中の今、花粉症についての本コラムをご一読頂ければ幸いです。花粉症をお持ちでない方でも、ご家族やご同僚、お友達で花粉症をお持ちの方は必ずいらっしゃるはずですので、そういった方々にも思いを馳せながらご参考になさってみて下さい。

1. 背景

花粉症というのはすなわちアレルギー性鼻炎・結膜炎を意味しますが、原因として花粉だけでなく、カビの胞子やイエダニ、ネコ、イヌのアレルゲンなども同じ病態を惹起します。そのなかでも、花粉による季節性アレルギー性鼻炎・結膜炎を特に花粉症と称します。ちなみに英語ではhay feverといいますが、hay (藁)もfever (発熱)も関係ありません。

そもそもどうして花粉症なんていう病気が発生してしまうのでしょうか。太古の昔から我々人類は木や草の花粉と共生してきたではありませんか？50年前には花粉症が社会問題になるなど、誰も予想だにしませんでした。花粉症の歴史をたどると、主に19世紀に始まるとされ、産業革命の真っ只中であった北米やヨーロッパで頻発していたことが記述されています。すると大気汚染が関係していることが想像できますが、確かに先進国や都市部では花粉症や副鼻腔炎の発症率が高いとされています。ただ

大気汚染だけではなく、家族歴・遺伝子の関与、衛生的な環境による感染症発症の低下、都市環境や住環境の変化など複合的な因子であろうと予測されておりますが、はっきりとはわかっていません。花粉症患者さんは、ご家族にも花粉症をお持ちの方が多いたのですが、具体的に遺伝子を特定したり、ましてや治療に応用したりという域にはまだまだ達しておりません。また昔は結核や腸チフスなど感染症の罹患率が高かったのですが、先進国における罹患率は低下し、結果免疫系統がよりアレルギー反応を起こしやすくなるとする説があります。かといって都市部でも結核の多いスラム地区に、喘息や花粉症が多いという事実があり、衛生面だけではアレルギー発症の説明にはならないことがわかります。またアスファルト舗装の道路が増えて、花粉が吸着されるような土の土地面積が減ってしまった結果花

粉が空気中を舞い続けるという原因も考えられます。コンクリート住宅によって、イエダニやカビが増殖した環境に居住する結果となったのも、つい数十年内のことです。

花粉は鼻や口から吸ったあとに粘膜に捉えられ、内部に含まれた微量のタンパク質が溶け出し、それをマクロファージという細胞が貪食して消化します。その後タンパク質の断面はマクロファージの表面に提示され、そこからT細胞やB細胞の影響を受けてアレルギー反応が引き起こされます。この反応のカスケードの終点は肥満細胞や好塩基球からヒスタミンなどが顆粒から分泌され、鼻がむずむずかゆくなったり、涙が出てきたりといった花粉症の症状を引き起こします。

2. 症状 ー涙目や鼻水だけではないんですー

花粉症の症状として代表的なのは、目のかゆみ、涙目、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、鼻のかゆみ、といったところでしょうか。その他にも鼻水あるいは鼻からの粘液がのどを伝わっていく後鼻漏、またそれによるのどのかゆみや痛み、咳払い、あるいは慢性的のせきなどもよくみられます。その他耳のかゆみや圧迫感、耳鳴りなど耳に知覚されたり、鼻閉や鼻腔や副鼻腔の炎症が頭痛を引き起こしたりする場合もあります。こういった症状はかぜの症状とよく似ていますが、かぜは数日で回復することが殆どであるのに対し、1週間、2週間と続くようであれば、アレルギーによるものである可能性が高くなります。

またすでにアレルギー性の疾患をお持ちの方は、花粉にアレルギーがある場合は悪化してしまうことが多いです。喘息やアトピー性皮膚炎などが代表例です。呼吸が苦しくなったり、咳が出たり、皮膚がかゆくなったりします。

こういった症状は間接的に睡眠不足や集中力の低下につながり、仕事や学業での生産性を低下させます。また外出を避けることによってレジャー産業などを中心に経済の低下にもつながります。また感覚が鈍くなることによる危険回避能力の低下につながり、例えば運転が必須のヒューストンでは事故の原因にもなりかねません。そこで、的確に診断・治療していくことが大切になるのですが、今回は検査方法、治療について触れていきます。

せき、耳のかゆみや圧迫感、耳鳴り、頭痛を引き起こしたりする場合も

医師 小川リール好子

東京大学医学部医学科卒。2012年にCenter for Allergy and Asthma of Texasを開業し、ヒューストンとウッドランズのクリニックにて日々臨床に従事。米国アレルギー免疫専門医、米国内科専門医、日本医師免許保有。



編集委員会では、医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターの方々にリレー方式で次々とご登場頂き、読者の皆様の健康に関する話、メディカルセンターの様子など連載記事としてご紹介しています。
前回の大場純奈先生から乳腺外科が専門の原尾美智子先生にバトンが移りました。

第114回

乳房の気になる症状と その対応

医師

(現MD Anderson Cancer Center研究員)

原尾美智子



2012年夏よりヒューストンに滞在している原尾といいます。日本では乳腺外科医として働いており、現在はMD Anderson Cancer Centerにて乳がんの新しい治療法、特に免疫療法について研究しております。

女性の皆さんはだれでも一度は乳房に何か気になる症状があったことはないですか？その時の心や体調の変化、生理周期などにより日々感じる症状は変化します。また、万が一何か症状があっても、場所が場所なだけになかなか相談できずに心細かったことはありませんか？もしこの症状が悪い病気の兆候だったら……そう思いながらも病院にかかることがわずらわしく思ったことはないでしょうか？特に乳房というデリケートな場所であることも病院から足が遠のく一つの理由かもしれません。

しかし、日本人の乳がんの罹患率は30歳代から増え始め40代後半から50代前半にピークを迎えます。この年代の方は家族や仕事など、忙しい毎日のため、自分のことは二の次になりがちです。しかしおなかの中や肺の中の病気と違い乳房は体表にあるため、比較的早く気づき治療できるのも乳房の病気の特徴といえます。今回、自己触診のポイントとその所見についてまとめてみましたので読んでいただければ幸いです。

◆自己触診について

自己検診とはいっても、自分で自分の乳房を見て触ることです。行う時期としては、閉経前の方は生理が終わったところから一週間までの間、閉経後の方はいつでも大丈夫です。少なくとも月に一度行い、いわゆる自分の正常な状態を知っておくことが大切です。

①全体を見る

お風呂に入った時など、まずは鏡の前で観察します。腕を上げた状態とおろした状態の両方で、正面、ななめから観察して下さい。その時のポイントは、乳頭の位置は左右対称か、大きさのバランスに変化はないか、皮膚の発赤はないか、凹みはないかを見るようにして下さい。人の体は決して左右対称ではありませんし、それは乳房でも同じことです。毎月観察している間に、変化がないかを確認してください。

②触ってみる

次に寝た状態で、右の乳房は左手で、左の乳房は右手で観察していきます。親指以外の四本の指をそろえ、指の腹で軽くなでるように、乳頭と同心円状に、もしくは乳頭から放射状にぐまなく乳房を触ってください。その時決して強く触らないようにしてください。イメージとしては、タオルの下にある大豆を探すような感じです。脇の下のくぼみまで含めて触ってください。硬いしこりや大きくなってくるしこり、腫れた感じ、皮膚の赤味や熱感、乳房の大きさの変化、皮膚の凹み、乳頭のかゆみやただれ、乳頭の引きつれ、乳頭分泌(特に血性)、新たに出てきた痛みなどを認めた場合は医療機関の受診をお勧めします。

◆良性疾患について

次に、よくある乳房の良性疾患とその症状をピックアップしてみました。

・**線維腺腫**; 10代から30代を中心にみられる良性のしこりです。境界が非常にはっきりとしてくりくりとしています。女性ホルモンの影響を受けて大きくなるため、閉経後では小さくわかっていくことが一般的です。明らかな癌との関連性はありませんが急激に大きくなってきたものや3cm以上の大きさのものは別な悪性のしこりと鑑別するうえでも摘出することをお勧めします。

・**乳腺嚢胞(のうほう)**; 乳房内にできた水のたまった袋のことです。一つだけできる場合もあればいくつもできている場合もあります。後述する乳腺症の一部と考えられており、大きさや症状に変化がなければ特に治療は必要としません。

・**乳腺炎**; 乳房の痛みを伴うしこり、熱感、赤味などが主な症状です。寒気を伴った高熱を認めることもしばしばあります。母乳のつまりや細菌感染が主な原因となります。治療法は症状や原因にもよりますが、乳汁のうっ滞が原因の場合はマッサージを中心に、細菌感染が考えられる場合には、抗生剤の内服や、場合によっては中にたまっている膿を切開して出す必要があります。

・**乳腺症**; 乳房が女性ホルモンの影響を受けさまざまな変化を起こしている状態を総称するもので、これ自体病気というわけではありません。生理周期によって硬さや大きさが変化するようなしこり様のものや、乳房のむくんだ感じや痛みといった症状は大体のものが乳腺症に入ります。乳腺症自体ははっきりとがん化に関連するものではないのですが、ごく一部の特殊な乳腺症はいわゆるがんの前段階と関連づけられており、場合によっては定期的なチェックが必要となります。

◆もし気になる症状があった場合

まず医療機関を受診する時期ですが、閉経前の人であれば生理が終わって一週間までの間を目安にしてください。この時期は特に乳房が柔らかく検査に向いている状態です。閉経後の人であれば気になった時にいつでも受診されてさしてください。病院を受診した場合は、問診と触診、マンモグラフィ、超音波やMRIなどの画像検査のうち必要なものを受診することになります。また、その結果によっては気になる部分の一部に針を刺して細胞を調べる検査が追加されます。

最後に、症状があったからといって即それががんというわけではありませんし、乳がんといっても一言で言い表せるものではありません。しっかりしたしこりを触れるものもあれば、全くしこりが触れずにごくわずかな皮膚の変化で見つかるもの、腕の腫れなどで見つかる特殊な症状を有する乳がんもあります。特に炎症性乳がんという区分に分類されるものは皮膚の赤味や熱感を主症状とし、明らかなしこりを触れません。何か変だと感じた時には自己判断せず勇気をもって病院にかかることが大切です。

次回は消化器外科が専門の須藤一起先生です。同じアパートに住んでおられ、偶然オフィスやプールサイドでお会いしたことがきっかけで知り合いになりました。先生のご専門の興味深い話が聞けるのではないかと楽しみにしています。

ピーカンキッズ活動報告

～あそぼーかい～



商工会生活・情報委員会主催

「古本市」開催のご案内

日時: 2014年5月17日(土) 12:00～16:00 午後のみ!

場所: 三水会センター ホール

商工会生活・情報委員会では上記のとおり、恒例の古本市を開催致します。ヒューストンでは、手に入らない日本の本を格安で手に入れるチャンスです。今回もビジネス書、女性雑誌、児童書や文庫本等多数ご用意して皆様のお越しをお待ち致しています。なお、三水会センターでは、ご家庭でご不要になった本のご寄付を随時受け付けておりますので、ご協力のほど、宜しくお願い致します。

3月のあそぼーかいは1日と4日に開催されました。今年のヒューストンはいつまでも寒いですが、そんな中たくさんの元気いっぱいの子びっ子達があつまってくれました。3月といえば「ひなまつり」。はじめにあそぼーかいのマスコットのトラお君とトラ子ちゃんと一緒にひなさまの由来のお話を聞き、今月の歌では「たのしいひなまつり」をみんなで歌いました。そして、工作では「おひなさま」を作りました。ひなさまの冠と扇、お内裏さまの烏帽子と尺は小さいので一緒に来てくれたお母さんと一緒に貼りましたが、お顔は自分で一生懸命描いて、それぞれにとっても可愛く仕上がりました。ひなさま、お家で飾ってもらえたでしょうか?他にエプロンシアター「おむすびころりん」では、ねずみの歌と踊りに合わせ、一緒になって、♪すつとんと〜ん♪と歌ってくれました。身体遊び「てをたたきましょ」では、みんなで歌にあわせて身体を動かしました。今月のお誕生会では、みんなでハッピーバースデーを歌って、お友達のお誕生日をお祝いしました。今回も盛りだくさんの内容でしたが、みなさん、楽しんでもらえましたか?今まであそぼーかいにずっと遊びに来てくれたちびっ子達の中には、4月から補習校に入園されるちびっ子もいるので、うれしい反面ちょっぴり寂しさを感じるスタッフです。現在はまた新しい出会いを期待して、次回の準備を始めています。お友達を誘って、ぜひ遊びに来て下さい。スタッフ一同、お待ちしております。

<今後の予定>

●あそぼーかい

4月17日(木) 10時30分～

4月26日(土) 9時30分～

5月17日(土) 10時30分～

5月24日(土) 9時30分～

●絵本読み聞かせの会

4月12日(土) 9時30分～ 3歳以上を対象とした絵本

10時00分～ 3歳未満を対象とした絵本

5月17日(土) 9時30分～ 3歳以上を対象とした絵本

10時00分～ 3歳未満を対象とした絵本

変更がある場合もございます。三水会センター内ポスターやヒューストンナビでもご確認ください。スタッフは、随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、右のアドレスまでご連絡下さい。お待ちしております。

あそぼーかい

mama.asobokai@gmail.com

読み聞かせの会

houstonyomikikase@yahoo.co.jp

No.73

ヒューストン知っせん物語

By Kumiko

はしどせ - vol (73)



© Kumiko

Showing Japanのご紹介 ～其の貳～

3月号に引き続き、4月号ではShowing Japanの具体的な活動内容の一部をご紹介します。

◆＜老人ホーム慰問＞

日時:2014年1月29日(水) 14:00～15:00
内容:茶道・日本舞踊 (さくらさくら、三味線ブギウギ)
訪問先:Brookdale Senior Living Facilities Memorial City
参加者:10名



茶道のお点前、皆さんの視線は釘付け



「さくらさくら」を背中合わせの状態でも……緊張!

日本文化に親しんでいたために、今回メンバーが向かったのは老人ホーム。ガウンのような着物を着て、日本髪のかつらのようなものを被ったスタッフの皆さんのお出迎えに、寒空の下、到着時は震えていた私達にも自然と笑みがこぼれます。

荷物を運び入れ準備を整えたら、亭主、半東、正客、ヘルプ係りに分かれて待機します。まずは茶道から。80名以上の方々が会場に集まって下さり、その中から3名お茶席に入ってくださいました。亭主が茶道口に座り、水差しを置いたら総礼。いよいよスタートです。お点前が始まった途端、いつものように厳肅な空気が漂い、スピーカーが進行に合わせて行う英語のナレーションに、会場の皆さんも聞き入っていらっしゃるようです。私の役割は、お茶席に入られた3名の方々のヘルプをすること。どの方も私の拙い英語の説明に耳を傾けて下さり、一つ一つゆっくりとした動きで茶道の所作を楽しまれているよう。お薄もきれいに飲み干され、「Tastes very good!」と気に入られたご様子でした。

茶道が無事に終わり、続いて踊りです。会場はとても広く、テーブル席は中央の通路を挟んで左右に分かれて配置されていたので、踊りはその通路で右側と左側を向く人に分かれ、背中合わせの状態でも踊ってほしいとのリクエストがありました。そこで、初めての試みではあったものの、5人の踊り手が、3人と2人に分かれて背中合わせの状態でも踊ることに。もちろん、ぶっつけ本番です。演目は、「さくらさくら」と「三味線ブギウギ」。もう5人共ドキドキです!一曲目の「さくらさくら」は入れ替わることもないので、何とか無事にクリア。問題は「三味線ブギウギ」のフォーメーションです。前後に入れ替わったり、回ったりしなければなりません。「間違えても笑顔で!」そんな気持ちで踊り出しました。すると、明るい曲調に合わせて途中から手拍子が入り、気が付けば会場はとても和やかな雰囲気になっていました。初めての試みは、意外にも皆さんに楽しんでいただけたようです。踊り手以外のメンバーからも、「新鮮だった!」との感想を聞くことが出来ました。

そして、今日は最後にこんな嬉しい出来事まで……

全てが終了し後片付けをしていると、耳の不自由な方がとても優しい表情で、「よかった!」と身振り手振りで伝えに来て下さったのです。心のふれあいに言葉は必要ないということを改めて感じた一日となりました。

(稲尾久美子)

◆＜小学校訪問＞

日時:2014年2月4日(火) 10:30～11:30
内容:紙芝居・折り紙・日本舞踊 (さくらさくら、ソーラン節)
訪問先:KIPP PEACE Elementary School
参加者:18名

小雨の混じる2月4日、この日はKIPP PEACE Elementary Schoolに招かれ、総勢18名で学校へ向かいました。時間より早めに到着し、校舎へ入ると、外の景色とは対照的に、学校は活気あふれ、教室から元気な子供たちの声が聞こえてきます。今日は2年生120名を対象に日本文化を紹介するイベントです。子供たちはグループに分かれ、紙芝居、折り紙と踊りの3つを体験しました。

おなじみの昔話「おむすびころりん」。机上には手描きの紙芝居がこちらにも手製の舞台に用意されています。整列して腰を下ろした子供たちは何が始まるのだろうと静かに舞台を見つめています。その場の空気をほぐすように、物語に出てくる掛け声「Rolling riceball、すつとんとん」を皆で練習し、いよいよお話が始まります。おにぎりが穴に転げ落ちる時には子供たちも一緒に「すつとんとん」と声を合わせました。すると教室にもおいしそうなおにぎりがいくつも飛び出し、子供たちはびっくり。次第におじいさんとねずみのやりとりを引き込まれていきました。

折り紙体験では低学年でも折りやすいピアノを作ります。元気の良い挨拶とともに教室に入ってきた子供たちは円卓を囲み、好みの色の折り紙を手に入れました。どのように指導したら折りやすいのか、試行錯誤を重ねた準備の甲斐あって、子供たちは的確な声かけに導かれて手を動かします。「こうでしょ?」と折り紙を手を私を見つめる可愛い瞳は真剣そのもの。仕上げたピアノを大切にポケットにしまう様子を見ていたら心が温くなりました。

会場をカフェテリアに移して、日本舞踊を披露しました。美しい振袖で舞う「さくらさくら」の優美な動きは、指先、傾げた首や視線など全身で創り出していますが、こうした細かな所作に日頃の練習の成果が表れます。その後イメージを変えて子供たちと一緒に「ソーラン節」を踊りました。「ソーラン節」は漁師の沖揚げ作業で、ニシンを掬い上げる際の掛け声であったことを説明した後、子供たちと振り付けの各パートの練習をしてから一緒に踊りました。先ほどうって変わって元気のいい曲のテンポに合わせ、皆で掛け声とともに、元気に踊り、楽しみました。

日頃あまり訪れる機会のない小学校の教育現場で、沢山の輝く瞳に迎えていただいて、お手伝いに伺った私たちの誰もが元気になった、そんな一日となりました。新しい出会いに心温まり、このような活動で些少でもお役に立つことができるのであれば、またお手伝いしたいと思います。

(寺田友子)



何がはじまるのかな?紙芝居をじっと見つめる子供たち



もうすぐ完成。見本の通り折れるかな?



子供たちの元気一杯な「ハイハイ」の掛け声と手拍子に合わせて

2013-2014年 ピクニック開催のご案内

商工会・日本人会共催によるピクニックが5月11日(日)、母の日に開催されます。商工会事務局では現在、参加とラッフルチケット前売り券のお申込を受け付けております。会員の皆様にはご家族をお誘いの上、是非ご参加ください。



新任ご挨拶

ヒューストン商工会事務局長 鮎川 史代

2月末日付で退職しましたライブロックにかわり、3月1日より商工会事務局長として勤務させて頂いております、鮎川史代と申します。昨年の夏、前任者ライブロックが長期休暇を頂いた際、代行をさせて頂いておりました。今回は短期間ではありますが、後任ということで前回とは全く違い、緊張の毎日です。まだまだ分からないことばかりで、至らぬところがあるかと思いますが、少しでも皆様のお役に立てる様、頑張りたいと思います。ご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

Houston Walker

ライブ音楽

The Cynthia Woods Mitchell Pavilion: <http://www.woodlandscenter.org/>
House of Blues Houston: <http://www.houseofblues.com/>
Bayou Music Center: <http://www.livenation.com/Verizon-Wireless-Theater-tickets-Houston/venue/98584>
Jones Hall: <http://www.houstonsymphony.org/>
Toyota Center: <http://www.houstontoyotacenter.com/>
Miller Outdoor Theatre: <http://milleroutdoortheatre.com/>
Reliant Park: <http://www.reliantpark.com/calendar>

美術

<The Museum of Fine Arts Houston>
(713-639-7300 www.mfah.org 木曜は入場無料)
<Contemporary Arts Museum Houston>
(www.camh.org)
<Houston Museum of Natural Science>
(713-639-4629 www.hmns.org)
<The Menil Collection>
(1515 Sul Ross 713-525-9400 <http://www.menil.org>
入場無料 Open: Wed-Sun 11:00am-7:00pm)

スポーツ

MBA/Houston Astros
<http://houston.astros.mlb.com/>



その他

Texas Crawfish & Music Festival April 19-20 & 26-27 @ Historic Old Town in Spring (130 Spring School Road Spring, Texas 77373) 雨天に関わらず決行。\$5-10(オンライン) \$15当日 (12歳以下は無料) Parking \$7. <http://www.texas crawfish festival.com/>
26th Art Car Parade May 9 & 10 @ 2402 Munger Street Houston, Texas 77023 (713-926-6368)
Houston's car-crazy culture and fiercely independent spirit collide in an explosion of creativity and color. Art Car Parade is the day Houston shows its wild side to the world! <http://www.thehoustonartcarparade.com/>
8th Cinco de Mayo Festival May 8 @ Traders Village Free Admission and parking for \$3. Come enjoy community service exhibits, games and activities for the kids, fresh fajitas and turkey legs on the grill, <http://tradersvillage.com/houston/events/6th-annual-cinco-de-mayo>
North Texas Beer Festival May 11, 2012 @Irving, Texas - 509 West Las Colinas Blvd Sample 100's of draft, specialty & imported beers & wines, cooking classes, speakers, demonstrations, live music & more. <http://www.northtexasbeerfestival.com/> or <http://northtexasbeerandwinefestival.eventbrite.com/>
Festival of Greece May 17-20 @ 1100 Elderidge pkwy Houston, TX 77077 Admission is \$3 and kids 12 and under free. Free admission on Thursday for the entire family! www.festivalofgreece.com
40th Pasadena Strawberry Festival May 17-19 @ Pasadena Fairgrounds. Annual Pasadena Strawberry Festival. Three big days of excitement and family fun, with the warm, country charm of the original Strawberry Festival. Advance tickets: Adult \$10 children: \$4(6-11) <http://www.strawberryfest.org/>

編集後記

日本の3月、4月は卒業と進学の時期ですが、当地ヒューストンでも3月15日に日本語補習校の卒業式・卒園式が行われました。今年3月時点で補習校に在籍されるお子さんは417名となり、昨年に比べて25名も増えているそうです。その分、異国の地で「お父さん」、「お母さん」の役割を担う方も、人数が増えたことになります。

さて、今月号の駐妻日記は、ヒューストンに2度目の赴任をしておられる方に寄稿頂きました。最初の赴任では、若いお母さんとして初めての駐在をされたご苦労と周囲の方が支えて下さったことへの感謝、2度目の赴任では、4人のお子さんを連れて渡米し、教会からお子さんのクラスを任されて、準備は大変ながら学ぶことの多い生活を過ごしておられる様子が綴られています。

なお、鮎川事務局長には、商工会の行事が集中してご多用の中、今月号から編集に参加頂いています。今後も、「ガルフストリーム」を宜しくお願い申し上げます。(白木 秀明)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行 : ヒューストン日本商工会
発行責任者 : 土光 辰夫
編集委員長 : 白木 秀明
構成・編集 : 藤岡博子/前田正子/岡野真弓
印刷 : Sel-Fast Printing Copies & Laminating
(713) 782-2000